

平成 29 年度
6 月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(企画部)

新規 台湾交流事業	1
------------------	---

(市民福祉部)

拡充 買い物弱者支援事業	2
---------------------	---

新規 障がい者施設整備費補助事業	3
-------------------------	---

新規 富山大学と連携した健康なまちづくり推進事業	4
---------------------------------	---

(農林部)

新規 クアオルト健康ウォーキング推進事業	5
-----------------------------	---

新規 広葉樹資源利用調査・検討事業	6
--------------------------	---

新規 広葉樹資源活用モデル事業	7
------------------------	---

(商工観光部)

新規 ロケツーリズム推進事業	8
-----------------------	---

新規 短編映画「わさび」先行上映会開催事業	9
------------------------------	---

(消防本部)

新規 気管挿管認定救命士養成事業	10
-------------------------	----

(教育委員会事務局)

新規 組紐体験文化交流事業	11
----------------------	----

新規 台湾交流事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,400	一般財源 3,400	委託料 2,600 旅費 629 その他 171
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨市と台湾・新港郷の民間レベルの交流は25年以上の長きに渡って培われ、一つの集大成として2年前に台湾で古川祭展覧会が開催されるまで友好が深まっています。

このような中、新港郷のまちづくり組織である新港文教基金会より、設立30周年の節目を迎えるにあたり、飛騨市とのこれまでの友好の歴史を広く紹介するための記念行事を開催したいという申し出がありました。

そこで、この記念行事に官民一体となって参加し、旧古川町のみならず飛騨市の文化を広く発信するとともに、新港郷との友好都市提携を締結、観光・農商工業・文化・教育にわたる総合的な交流を図ります。

3 事業概要

① 友好都市提携の締結

10月13日から15日に開催される新港文教基金会30周年記念行事に、官民一体となって訪問し、飛騨市と新港郷の友好都市提携を締結します。

飛騨市合併後、海外の都市と友好都市提携を結ぶのは初めてのことになります。

② 飛騨市の総合的な文化の発信

30周年記念行事に合わせて10月から11月にかけて台湾で開催される文化交流展で、これまでの飛騨市と新港郷の友好の歴史、飛騨市の祭りや匠文化の紹介、今夏にホームステイを行う吉城高校生と現地高校生が協働製作する陶器作品等を展示します。

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 6 企画費
所 属	企画部 地域振興課	TEL 0577-62-8904

拡充 買い物弱者支援事業

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,000	一般財源 3,000	補助金 3,000
(現計予算 2,400)		

2 事業背景・目的

中心地の商店街やスーパーなどへ買い物に出かけられない「買い物弱者」対策については、平成28年度に生鮮食品や生活物資等の移動販売事業への参入促進と事業継続を図るための助成事業を創設しました。現在は4事業者が移動販売を実施し、古川地区で1台、神岡地区で1台、河合・宮川地区で2台が運行され、地域の方から大変好評をいただいています。

今後、さらなる対象地域の拡大が望まれているなかで、神岡地区において具体的な計画があることから、助成制度の拡充を図ることで、買い物弱者への支援をより一層推進していきます。

3 事業概要

○ 2台目以降の移動販売車両購入費の助成金を拡大

運行地域を増やすなど積極的な事業拡大を進める事業者に対し、2台目以降の移動販売車購入費への助成を拡充します。

「移動販売車購入費助成内容」

【1台目】	補助率 1/3	【2台目以降】	補助率 1/2
	上 限 1,000千円		上 限 3,000千円



(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 3 老人福祉費
所 属	市民福祉部 地域包括ケア課	TEL0577-73-6233

新規 障がい者施設整備費補助事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
31,160	過疎債	31,100	補助金	31,160
	一般財源	60		
(現計予算	0)			

2 事業背景・目的

① 社会福祉法人飛騨慈光会が運営する高山山ゆり園は、飛騨圏域3市1村から57名が利用され、うち飛騨市からは8名の方が入園しています。しかし、同施設は建築から40年以上が経過し老朽化が進んでいることや、バリアフリー対策が万全ではないことが課題となっています。そのため、施設入居者の個室の確保と短期入所の定員増による在宅障がい者の利用希望に応えるとともに、災害時における在宅障がい者の避難スペースを確保するための整備もあわせて、今年度移転新築されます。

② 医療法人生仁会は、飛騨圏域における障がい福祉サービスの充実、障がい者の居住場所の拡充や精神科長期入院患者の退院促進を目的とした「障がい者の入院利用の地域移行」の環境整備として障がい者グループホームを新築します。

両施設の建設について、高山市、下呂市、白川村と一体となって整備事業費の一部を支援することで、障がい者の自立した社会生活の支援、生活の場の確保、ご家族の安心につなげ、誰もが安心して暮らせる地域を目指します。

3 事業概要

① 社会福祉法人飛騨慈光会 高山山ゆり園移転新築整備費補助金 (30,128千円)

建築場所：高山市下切町208-1 (鉄骨造一部2階建て 延床面積4,418.18㎡)
定員：118名 (日中活動 65名、施設入所支援 48名、短期入所 5名)

② 医療法人生仁会 障がい者グループホーム新築整備費補助金 (1,032千円)

建築場所：高山市国府町村山481-1 (木造平屋建て 延床面積149.06㎡)
定員：6名

(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 7 社会福祉施設費	
所 属	市民福祉部 障がい福祉課	TEL0577-73-7483	

新規 富山大学と連携した健康なまちづくり推進事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
2,269	一般財源	2,269	委託料	1,500
			その他	769
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

飛騨市民病院に医師派遣等で支援をいただいている富山大学総合診療部は、富山県内で地域住民の自発的な健康づくり、地域医療体制の理解普及に取り組み、そのモデルとなった南砺市は全国的にも高い評価を受けています。

飛騨市では、富山大学総合診療部と連携し、富山大学からの指導や企画提案を受けながら、医療費、介護費の削減につながる市民の健康づくり、健康な地域づくりに向けた取り組みを始めます。

富山大学からの研修医や地域医療実習を行う医学生等が市民の健康づくりを支援する体制の構築を目指し、まずは、その構築に向けての連携をサポートできる専門職や市民レベルのリーダー養成に取り組みます。

3 事業概要

○富山大学総合診療部との連携による市民の健康づくり推進

富山大学総合診療部に、飛騨市での健康な地域づくりを進めるための指導や企画等を委託し、市内で市民の自発的な健康づくりのための啓発講座を実施します。

- (1) 富山大学総合診療部の企画により今年度実施される「富山市健康まちづくりマイスター養成講座」に飛騨市からも行政、医療、介護、一般市民等が参加し、実践事例を学びながら富山市及び富山大学との連携を深めます。
- (2) 平成 30 年度以降、飛騨市で地域医療支援、市民の健康づくり等を推進する市民レベルの「健康まちづくりマイスター(仮称)」を養成する講座を開設するため、今年度、富山大学の企画により著名な講師を招き、専門職や市民が意識を高めるための啓発講座等を開催し、実践に向けた土台作りを行います。
- (3) 平成 31 年度以降、富山大学総合診療部と連携した寄附講座等を開設し、健康な地域づくりの取り組み支援や在宅医療体制等の充実を図るとともに、飛騨市民病院の常勤医師の拡充を図ります。



(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	1 保健衛生総務費
所 属	市民福祉部	地域包括ケア課	TEL0577-73-6233		

新規 クアオルト健康ウォーキング推進事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,250	一般財源	1,250
		賃金 519
		旅費 507
		その他 224
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

近年、高齢化と健康志向の高まりにより、全国的にウォーキング人口の増加が続く中、自然豊かな飛騨市は健康づくりのための環境にも恵まれていることを踏まえ、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード2016」に応募し優秀賞を受賞しました。

今後はこの受賞に伴う太陽生命からの様々な支援を受けながら、薬草、えごま、広葉樹のまちづくりなどの事業と連携し、市民の健康づくりとウォーキングを通じた交流人口の拡大に取り組みます。

3 事業概要 (※太陽生命の支援により行う事業)

① 健康ウォーキングコースの開設 (※)

市内2ヶ所にクアオルト健康ウォーキングコース「クアの道」を開設するにあたり必要な調査及び安全対策に関する確認を行います。

② ウォーキングコース案内看板設置及びコース案内マップの制作 (※)

市内2箇所のウォーキングコース入口及びコース内への案内看板設置と、コース案内マップを制作します。

③ 専門ガイドの養成 (※)

市内ウォーキングコースを案内する専門ガイド養成のための講習会を開催します。

④ ウォーキングイベントの開催 (※)

市内ウォーキングコースの市民へのお披露目とウォーキング体験を通じたクアオルト健康ウォーキングの普及を目的としたイベントを開催します。

⑤ 上記を円滑に進めるための体制整備 (1,250千円)

健康ウォーキングに必要な備品を整備するとともに、市民への普及や関連事業との連携を促進させるための専門職員を配置します。また、本事業の円滑な推進を図るため、クアオルト健康ウォーキングの先進自治体との意見交換等を行います。

(款) 6 農林水産業費	(項) 2 林業費	(目) 2 林業振興費	
所 属	農林部 林業振興課	TEL 0577-62-8905	

新規 広葉樹資源利用調査・検討事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,584	県支出金	1,584	委託料	1,168
			旅費	346
			その他	70
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

市内の豊富な広葉樹資源の活用を進めるため、昨年度は国交付金を活用した広葉樹の資源量調査、広葉樹活用モデル林の設置と広葉樹材を使った試作品の製作などを行うとともに、その成果を関係者と共有するため「飛騨市広葉樹のまちづくりシンポジウム」を開催しました。

本年度は広葉樹の森を持続可能な資源として利用する具体的な仕組みづくりを進めるため、県事業を活用し、市内関係者による地域検討会の開催や先進事例の研究等を行うとともに、広葉樹のまちづくり基本計画（仮称）を策定し、併せてその成果を飛騨市森林整備計画に反映します。

3 事業概要

① 地域協議会の開催

市内の素材生産者、製材事業者、木工関連事業者、木育推進団体等による地域協議会を開催し、広葉樹資源活用の検討及びその仕組みづくりに必要な意見の取りまとめを行います。

② 森林資源活用のあり方と飛騨市における新しい価値の創出

森林資源活用に関するノウハウと知見を有した有識者を招へいし、地域協議会及び市内森林関係者を対象に講演会を開催します。また、飛騨市における森林資源の新たな活用方策等に関する意見交換会を開催します。

③ 国内先進地域の事例研究

飛騨市における広葉樹資源活用の仕組みづくりの参考とするため、国内で広葉樹資源の活用を進める自治体を訪問し、取り組みに関する情報収集及び関係者との意見交換を行います。

(款)	6 農林水産業費	(項)	2 林業費	(目)	2 林業振興費
所 属	農林部 林業振興課		TEL 0577-62-8905		

新規 広葉樹資源活用モデル事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,024	国庫支出金	3,024	委託料	2,546
			旅費	348
			その他	130
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

飛騨市はこれまで、広葉樹のまちづくりの一環として、第三セクター「(株)飛騨の森でクマは踊る」による広葉樹資源を活用した新たな商品開発及び販売を進めてきましたが、より付加価値の高い商品を開発するためには、飛騨市らしい独自性のある仕組みが必要です。

そのため、国の交付金を活用し、市内広葉樹の伐採から製材、商品開発、製造・販売までを一貫して行うことで、広葉樹の地域内活用に取り組むと同時に、取り組みそのものを市内外に発信することで、飛騨市産広葉樹材のブランド化と活用を推進します。

3 事業概要

① 飛騨市産広葉樹用材の安定供給

近自然の森づくり（育成木施業）による市有林（広葉樹）の適正管理と広葉樹用材のストック確保（伐採、搬出、製材、保管）を行います。

② 有識者の招へいによる意見交換の実施

広葉樹の活用に関する知見及びノウハウを有した有識者を招へいし、飛騨市らしい新たな商品の開発等について意見交換を行います。

③ 飛騨市産材を活用した新たな商品プロトタイプ（試作品）の製作

飛騨市の広葉樹資源のブランド化実現に向け、国内外のクリエイターや職人が参加する上記意見交換を踏まえたアイデアコンペを実施します。



(款)	6 農林水産業費	(項)	2 林業費	(目)	2 林業振興費
所 属	農林部	林業振興課	TEL 0577-62-8905		

新規 ロケツーリズム推進事業

1 事業費 (単位：千円)		【財源内訳】		【主な使途】	
	3,779	一般財源	3,779	委託料	3,779
(現計予算	0)			

2 事業背景・目的

アニメ映画「君の名は。」のヒットは、飛騨市に多くの観光客をもたらし、ロケツーリズムを切り口とした観光に注目が集まっています。

市民の観光客受け入れ機運の高まりや、聖地巡礼の流れを一過性で終わらせることなく、飛騨市が今後もロケーション撮影地として選ばれるためには、市民自らが著作権等への理解を深め、おもてなし部隊となっていく体制を築く必要があります。

このため、ロケーションジャパン地域特別賞の受賞により構築した専門団体ロケツーリズム協議会とのネットワークを活かし、ロケツーリズムへの取り組みを新たに始めます。

3 事業概要

① ロケ誘致に必要な手続きや著作権処理方法等を学ぶセミナーの開催

市民を対象に、著作権などの守らなければならないルール、SNSなどの迅速な情報発信、観光客の方々へのおもてなしの方法などを学ぶセミナーを開催します。

② ロケハンツアーの開催

映画製作に携わる関係者等を対象に、豊富な自然や生活感ある風景など、市内の様々なロケ候補地を巡る「ロケハンツアー」を実施します。

③ 専門誌を活用したロケ誘致情報の発信

ロケハンツアー状況の情報発信を行います。ツアーの評価や意見を踏まえ、映像関係者や聖地巡礼者向け専門誌である「ロケーションジャパン」と連携し、全国にPRを行います。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部		観光課		Tel.0577-73-7463

新規 短編映画「わさび」先行上映会開催事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
979	一般財源	979
		印刷製本費 540
		委託料 240
		その他 199
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」で主演を務めるなど、今最も旬な女優として多方面で活躍している芳根京子さん主演の短編映画「わさび」が、8月26日から公開されます。この映画は、東京限定での公開とされていますが、飛騨古川を中心とした飛騨地域が舞台として描かれていることから、関係機関の協力のもと、飛騨市において先行上映会を開催する運びとなりました。

作中では、心の病を抱えた父親のために実家の寿司屋を継ぐ決意をする高校生を主人公に、人生の苦しみや哀しみ、新しい希望への気づきが飛騨古川や高山の美しい背景とともに描かれています。この映画を通してより多くの市民の方に飛騨市の自然や風景、文化や人々の生活風景など、地域の魅力を改めて実感していただき、映画による地域振興に対する意識高揚を図ります。

3 事業概要

① 短編映画「わさび」先行上映会

日時：平成29年8月13日（日） ※上映時間未定

場所：飛騨市文化交流センター大ホール 入場料：500円/人

※ 外山文治監督のトークショーを同時開催します。

② ポスター、パネルの製作

映画に関連し、飛騨市の魅力を伝えるポスターを市内外に掲出するほか、市内でのパネル展の開催や、東京での上映時には映画館への貸し出しを行うなど、観光キャンペーンに広く活用します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部	観 光 課		TEL.0577-73-7463	

新規 気管挿管認定救命士養成事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
324	一般財源	324 委託料
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

救急の現場において、人工呼吸が必要な方に対して口から気管へチューブを挿入し、確実な気道確保が可能となる気管挿管を施すことで、救命率の向上が期待されます。

現在、飛騨市消防本部には、救急現場で気管挿管を行える認定救命士は6名在籍していますが、救急出動時、常に1名以上の認定救命士を配置する体制を構築するには、人数が不足している状況で、新たな認定救命士を養成する必要があります。

平成29年4月より近隣の高山赤十字病院が実習可能な病院として認定されたことを機に、速やかに病院実習を実施することで認定救命士の養成を図り、市民の生命を守る体制を強化します。

3 事業概要

○ 気管挿管病院実習委託

高山赤十字病院において認定に必要な30症例分の病院実習を行い、今年度1名の認定救命士を養成し、救急出動時に常に1名以上の認定救命士が配置可能となる15名体制の実現を目指します。



(款) 9 消防費	(項) 1 消防費	(目) 1 常備消防費
所 属	消防本部 救急課	TEL.0577-73-6119

新規 組紐体験文化交流事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
950	一般財源	950	賃金	637
			旅費	83
			その他	230
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

映画「君の名は。」の重要なアイテムである組紐は、三重県伊賀市が発祥の地とされており、昨年度、飛騨市美術館において組紐体験コーナーを設置した際、その技法を学ぶため伊賀市を訪問したことが契機となり、両市の文化交流が生まれました。

加えて、先のユネスコ無形文化遺産に登録された全国33ヶ所の「山・鉾・屋台行事」の中には、飛騨市の「古川祭の起し太鼓・屋台行事」、伊賀市の「上野天神祭のダンジリ行事」が含まれ、さらに交流を深める絶好の機会となっています。

交流によって得た本物の組紐文化を、飛騨市を訪れる観光客の方に体験できる場として提供することで、飛騨市ならではのおもてなしを強化するとともに、飛騨市の文化を伊賀市に発信することで、組紐の縁で結ばれた伊賀市との相互文化交流を推進します。

3 事業概要

① 組紐体験コーナーの運営

この夏より金～日曜日の週3日間、飛騨古川さくら物産館に組紐体験の指導員を置き、体験希望者を受け入れる環境を整備します。

② 伊賀市への訪問

伊賀市を訪問し、組紐作品の鑑賞や本場の組紐技法を学ぶとともに、相互の文化交流に向けた意見交換を行います。

③ 組紐ワークショップの実施

伊賀市で学んだ技術を市民に還元するための、ワークショップを開催します。

④ 組紐技術の実演

伊賀市の組紐工芸師を招聘し、市民に本場の技術や文化に触れる場を提供します。

(款) 10 教育費	(項) 4 社会教育費	(目) 6 地域文化振興推進費	
所 属	教育委員会事務局	文化振興課	TEL0577-73-7496